

# 天沼小だより

校長 大里 忠弘



## 年始め、校長からのお話

3学期始業式は、各教室への動画配信で行いました。そこでの校長からの話の内容をお伝えします。

天沼小学校のみなさん、明けましておめでとうございます。新しい一年が始まりました。学校では学年をしめくくるまとめの3学期です。3月の修了式、卒業式では、自分自身の成長を実感できるように、今日からの3ヶ月、それぞれ自分の成長を振り返りながら過ごしていきましょう。

私は、みなさんに話す機会があるときには、友だち同士の思いやり、やさしさを大切にしてほしいということを伝えてきました。毎日の学校生活を振り返ってどうでしょう。友だちとの関わりの中で、嫌な思いをしていませんか。悲しいなと思ってしまうことはありませんか。その逆はどうでしょう。あなたは友だちに悲しい、嫌な思いをさせていませんか。させていませんと考えている人、本当にそうですか。自分では気づいていないだけかも知れません。

オンラインゲームって知っていますね。インターネットを使って、名前も知らない遠くの人とも対戦したり、協力したりして遊べるコンピューターゲームです。人気のあるゲームの一つに、ファイナルファンタジーがあります。その14。このゲームに参加する人たちの間には、あるルールがあるそうです。禁止事項といって、やってはいけないことが決まっているのだそうです。

それは迷惑なことをしません、というものです。どんなことが迷惑になるのかというと、「ばか」「ゴミ」といった悪い言葉や暴言。「お前のしゃべり方は気持ち悪い」など、他の人の特徴を攻撃するような文章の書き込みも禁止されています。直接面と向かっているときにはいいにくいことも、ネットゲームの中では安易に言えてしまうものです。でも、せっかく、楽しいゲームに参加しているのに、嫌な思いをするなんて悲しいことです。このゲームに参加する人たちの間では、相手の気持ちを考えて、互いに気持ちよくゲームを楽しみましょうというルールが大切にされているのでしょ

う。私たちはいろいろな人と関わります。学校でも友だちと接します。それぞれ違った顔をしているように、話し方も違えば、好きなものや得意なことも違います。物の感じ方も違うのです。自分では普通で当たり前、とくに嫌な感じはしないことでも、他の人にとっては嫌だと感じて気分を悪くすることもあります。

相手と直接会わないゲームの中でさえ、「他の人への思いやりと礼儀を大切に、少しでも相手が嫌だと思うかもしれないことは、言ったり、やったりしないようにしましょう」というルールがあるのです。直接顔を合わせている学校の中ではなおさら、相手の気持ちを想像できる心をもちましょう。いろいろな人の立場を想像できる心のことを豊かな感性といいます。

多くの人に認められ、活躍している人たちは皆、この豊かな感性を持った人たちです。成熟した心を持った人たちです。天沼小学校のみなさんが、豊かな感性を磨いて、心を成熟させ、いつしかいろいろな場面で活躍してくれるといいなと願っています。その日のために、今日からの3学期、いろいろな立場の人を思いやる、心の豊かな天沼小学校をつくっていきましょう。